

「あゆみ」

作・柴幸男

【登場人物】

あゆみ
未紀

本作は、舞台の幅を越えて、登場人物たちが移動し続ける物語として書かれました。

特に注意書きがない場合をのぞき、登場人物たちは矢印の方向へ移動し続けるイメージでト書きが書かれています。

役者同士は移動を引き継ぐことで、役柄も引き継ぎ、劇を進行させます。

例えば、登場人物Aが移動し続け、舞台から見えなくなると同時に、別の役者が登場人物Aを演じながら入場します。

本作は三名の役者で、二役を演じ、上演することを想定しています。

以上の注意書きは、あくまで、戯曲が書かれた時点での想定です。

上演の際に、順守しなければならないものではありません。

何もない舞台。
役者三人、小道具を持って舞台へ。
小道具を必要な場所に置く。

準備ができ次第、三人は舞台を歩きはじめる。

役者たちが歩きはじめると照明でつくられた光の道が出来る。

芝居がはじまる。

1 通学路

あゆみ、登場。歩いている。

あゆみ
……

未紀、登場。あゆみを追って歩いているらしいが、歩き方がおかしい。

未紀 あゆみちゃん歩くのはやーい

あゆみ みきが遅いんだって

未紀 待って

あゆみ 遅刻したらみきのせいだからね

未紀 (立ち止まって) ちよっと、靴ひも・

あゆみ (立ち止まる) ええ?

未紀 うそー

あゆみ (歩き出す)

未紀 あーごめんなさい

あゆみ 早くしてよ

未紀 だってこの白いところから落ちたら死んじゃうから、

あゆみ え?

未紀 白いところ以外全部地雷で、踏むと、爆発して、死ぬ、

あゆみ 死ぬんだ

未紀 あゆみちゃんが。

あゆみ なんてあたしなの

未紀 だからこの白いつこしか歩けない

あゆみ バカじゃないの

未紀 はやいはやい、

あゆみ ……もー、じゃあねバイバイ

未紀 えー、ちよっと(線を無視して追いかける) ボカーン

あゆみ ……

未紀 あーあ、あゆみちゃん死んじゃった

あゆみ みきが死ぬ

あゆみ、行ってしまっ。

「あゆみ」

未紀

えー、ごめん

未紀、あゆみを追う。

2 通勤

先の未紀の歩く速度に合わせて、女、歩いてやってくる。

女
(立ち止まる) あれ？

女、再び歩き出す。

女
……あ、ぼーとしたた。何だ。今の。いつだ。いつ？ 小学校。小学校か。あー。何年前だー？
なんでいま思い出したんだろ。あ、今の人、ちょっとカッコいい。そうでもないか。ていうか歩いてる人みんなカッコよく見えるな最近。そうでもないか。今日天気いいなー。さむ。風つめてー。
温泉。温泉行きたい。温泉入りたいなー。

女、歩いている。

3 お風呂

歩いている女の後ろから、突然あらわれた未紀が声をかける。
いつのまにか女はあゆみになっていた。

未紀
右足から？ 左足から？
あゆみ
(振り返って) え

あゆみは未紀の前を歩き続ける。
未紀はけんけん遊びをしながらあゆみの後をついていく。

未紀
心理テストー、ジャジャン
あゆみ
なに？
未紀
だからあゆみちゃんは風呂桶にどっちの足から入る？ 右足？ 左足？
あゆみ
……風呂釜でしょ
未紀
え？
あゆみ
風呂桶には入れないでしょ、小さくて
未紀
なにが？
あゆみ
だから桶じゃなくて釜(でしょ、それは)
未紀
いいから、どっちから入る？ 右足？ 左足？
あゆみ
……両足
未紀
えー、両足から入るの？
あゆみ
そうそう
未紀
風呂桶に？
あゆみ
だから桶には入んないってば
未紀
えー、あゆみちゃんきたない
あゆみ
みきのバカ
未紀
バカじゃないもん
あゆみ
追いてくからね

「あゆみ」

あゆみ、行ってしまっ。

未紀 え、あゆみちゃん、ねえ、待って、
未紀、小走り、あゆみを追う。

4 エレベーター

未紀が出て行くのに合わせて女、歩いてやってくる。
女、見えないエレベーターに乗る。ボタンを押し、閉めようとする。

女 ……

遅れて、同僚が走ってやってくる、

同僚 待って、待って、待って、
女 (慌ててボタンを押し) あ、

同僚、見えないエレベーターに滑り込む。

同僚 はー

おはよう

同僚 (息を整えながら) おはよう

女 十階？

同僚 うん、…歩くのはやすぎ

女 え？

同僚 全然追いつけないんだもん

女 あ、ごめん、よく言われる。

同僚 まだ歩いてきてんの？

女 え？

同僚 家から、

女 うん

同僚 寒くない？

女 寒い

同僚 じゃあ使えよ、電車

女 ああ、うん、でももうずっとだから

同僚 え？

女 あ、いや、うち田舎だったから、学校とかずっと歩いて行ってたし、慣れ？

同僚 えー、

女 なんかさつき、急に思い出して、うん、昔からそうなんだよねー

同僚 今日、外回り？

女 午後から

同僚 じゃあ、お昼一緒に食べようよ

女 あ、いいよ

同僚 じゃあ

女 うん

「あゆみ」

二人、見えないエレベーターを降りる。
女と同僚は、別々の方向へ。

同僚 (振り返って) あ、今日、本社寄る？

同僚、女の後を追いかける。

女 あ、うん。

同僚 じゃあ、悪いんだけどこれ(書類)持ってってもらってもいい？

女 (受け取って) ああー、わかった

同僚 ごめんね

女 ううん、全然。

同僚 じゃあ、あとで

女 はいー

女と同僚、別々の方向へ分かれていく。

5 お見舞い

先の女が出て行ってしまいうのに合わせて、あゆみやってくる。

あゆみ ……

あゆみ、立ち止まる。手にはプリントを持っている。

あゆみ ……ごめんくださーい

声 はい

未紀、やって来る。

未紀 あー、あゆみちゃん

あゆみ ……

未紀 お見舞いに来てくれたの？

あゆみ プリント、持ってきた

未紀 ああ、ありがとー

あゆみ だいじょうぶ？

未紀 うん

あゆみ 頭打ったって、

未紀 うん、でも今日、病院行ったけど平気だって、

あゆみ そうなんだ

未紀 うん

あゆみ ……両足で入ったの？

未紀 え？

あゆみ お風呂、

未紀 あ、うん。でも、いっせーのっせってやるうとしたら、こけた。

あゆみ バカ

未紀 両足で入るって意外とむずいね。あゆみちゃんすごい。

あゆみ ……うそだよ

未紀 え？

あゆみ あんなのうそに決まってんじゃない

「あゆみ」

未紀 うそなの？
あゆみ うそだよ

未紀 えー、あゆみちゃんが両足で入るって言ったからみきもやったのに、
あゆみ バカ

未紀 えー

あゆみ ……ごめん

未紀 え？

あゆみ ごめんなさい

未紀 え、でもこけたのみきだし

あゆみ ううん、ごめんなさい

未紀 ……あ、ねえ、あゆみちゃん、新しいりぼんもう読んだ？

あゆみ (首を横に振る)

未紀 あのね、お母さんが病院の帰りに買ってくれたの、一緒に読もうよ

あゆみ (首を横に振る)

未紀 えーなんで、読もうよ、ねえ、一緒に読もう？

あゆみ (うなずく)

未紀 やったー、じゃあ、上がって、

未紀、行ってしまおう。

未紀の声 お母さーん、あゆみちゃん遊んでくって、

あゆみ ……おじゃまします

あゆみ、ゆっくりと歩いていく。

6 ランチ

あゆみが行ってしまうのにあわせて女、やってくる。

女 ……

女の後ろから、同僚やってくる。

同僚 へー、仲良かったんだ。

女 いや、中学入るまでかな

同僚 え？

女 部活とかあると、時間合わないから

同僚 ああ、そうだね

女 たまに会ったときとかにちょっと話したり、

同僚 実家、帰ったら会ったりとかすんの？

女 ああ、いや、ううん

女と同僚、歩いて行く。

7 雨やどり

あゆみ、少し早歩きでやってくる。頭の上に見えないカバンをかざしている。
雨が降っているらしい。

「あゆみ」

あゆみ、立ち止まる。屋根があるのだろうか。
手や服についた水滴を払う。

あゆみ
……

未紀、走りこんでくる。
走り抜けようとしていたらしいが、あゆみを見つける。

未紀 あ、
あゆみ ああ

未紀、一緒に雨やどりをする。

未紀 すごいね

あゆみ うん、

未紀 びしょびしょ

あゆみ ……傘持っていないの？

未紀 え、あたし傘持ってるの？

あゆみ いや、持っていないけど

未紀 ああ、びっくりした

あゆみ だってちよつと降ってたでしょ、朝

未紀 うん、でもいけるかなって

あゆみ そーゆーところ変わんないね

未紀 あゆみちゃんだって一緒じゃん

あゆみ あたしは違うの

未紀 なにそれ

あゆみ だめだこれ、やまないわ

未紀 えー

あゆみ あそこまで行こう

未紀 え、どこ？

あゆみ あの、木のところ

未紀 あ、うん

あゆみ 行くよ、せーの

未紀、ダッシュ。

あゆみ、止まったまま。

未紀、走り終わって、

未紀 ……あれ？

あゆみ どお？ そこ濡れない？

未紀 うん、だいじょうぶ、…あ、

あゆみ、頭の上にカバンを持って早歩き。未紀のいる場所にたどりつく。

あゆみ ほんとだ

未紀 ずるい

あゆみ ごめんごめん

未紀 あゆみちゃんって頭良いよね

「あゆみ」

あゆみ 別にそんなことないけど
未紀 市の高校行くんでしょ？
あゆみ あ、うん
未紀 電車で行くの？
あゆみ そりゃそうだよ
未紀 すげー
あゆみ すごくないし、ほんとはもつと遠くに行きたかったんだけど
未紀 え、遠くって？
あゆみ 東京とか？
未紀 えー、それは、無理でしょ？

あゆみ、先に行く。

未紀 あ、

あゆみ、次なる雨やどりの場所に着いて、

あゆみ うん、無理だった。だから大学は東京がいいな、じゃなかったら大阪
未紀 ……あたしもそっち行つていい？
あゆみ むりむり、一人分しかないよここ
未紀 えー
あゆみ あたしが次のところに行くからそしたらおいで
未紀 あー、うん、
あゆみ なんならもつと遠く、アメリカ？ イギリスもいいな
未紀 あゆみちゃん大学行くんだ
あゆみ 未紀は？
未紀 そんな、だつてやつと高校決まったばっかだし、そんなのわかんないよ
あゆみ なりたいものとかないの？
未紀 別に、なんにも
あゆみ ふーん

あゆみ、次なる雨やどりの場所に向けて歩き出す。
未紀、今まであゆみがいた場所に向けて、走りだす。

未紀 でも、あたしはずっとここにいると思う
あゆみ え、なんで

あゆみと未紀、それぞれの場所で立ち止まる。

未紀 だつて、別に出て行く理由とかないから、あ、
あゆみ え、
未紀 思い出した、あたし、あゆみちゃんになりたかったんだ
あゆみ え、なにそれ
未紀 ……なんか久しぶりだね
あゆみ え？
未紀 こうやって話すの
あゆみ そうだね

あゆみ、次の場所に歩き出す。
未紀、今まであゆみがいた場所に向けて、走りだす。

未紀 あゆみちゃんは
あゆみ え？

あゆみと未紀、それぞれの場所で立ち止まる。

未紀 何になりたいの？

あゆみ あたしはねー、遠くに行きたい

未紀 え？

あゆみ 行けるとこまで行きたいって感じかな

未紀 ……月とか？

あゆみ あー、

未紀 ね

あゆみ それもいいかも、宇宙飛行士になろうかな

あゆみ、次の場所に歩き出す。

未紀 あ、待って

未紀、あゆみを追いかけて走って行く。

8 オフィス

未紀がいなくなるのに合わせて、女、歩いてやってくる。

女

じゃあ本社寄って、そのまま外回り行ってきます。何か持ってくるものとかありますか？ だいじょうぶですか。電話あったら携帯に回してください。帰りは9時すぎになると思います。あ、冷蔵庫のプリンみなさん食べてくださいね。今日が期限です。じゃあ行ってきますー。

女、歩いて行ってしまふ。

女が歩く方向は、今まであゆみや未紀が歩いていた方向とは反対方向。

9 家出

女、以下のシーンの最中、歩き続けている。

あゆみ、歩いてやってくる。

未紀、後を追いかけて歩いてやってくる。

女、歩いている。女にはあゆみと未紀が、あゆみと未紀には女が、見えていない。

あゆみ もうすぐ7時だよ、サザエさん終わっちゃうよ

未紀 でも、

あゆみ お母さんに怒られるよ、

未紀 ……あゆみちゃんは？

あゆみ あたしはそのまま行く

「あゆみ」

あゆみ、歩き続けている。

未紀 帰れなくなっちゃうよ

あゆみ 帰れなくていいの、家出なんだから

未紀 だって、あゆみちゃんだってお母さんに怒られるよ

あゆみ 帰らないんだから怒られないよ

未紀 ……

あゆみ 誰にも言っちゃダメだからね、じゃあね

未紀 ……（立ち止まり）

あゆみ、歩いて行ってしまおう。

未紀 あゆみちゃん、待って！

未紀、走ってあゆみを追いかける。未紀、女に少しづつかる

女 え……、

女、立ち止まる。

あゆみと未紀に、気がつく。

女 あれ？

10 月まで十二年

あゆみ、歩いている。

未紀、後ろをついて歩いている。

女、ふたりに見ながら反対方向に歩き続ける。

以下のシーン中、何度か、女は走る。

その瞬間に、少しだけ、あゆみと未紀の会話が巻き戻る。

まるで、道が時間の流れそのもののように。

あゆみ ついてこないでよ

未紀 一緒に帰ろうよー

あゆみ だからみきは関係ないでしょ、早く帰ってよ

未紀 だって、どこに泊まるの？

あゆみ 公園

未紀 ごはんは？

あゆみ 貯金で買う

未紀 貯金がなくなったら？

あゆみ 働く

未紀 無理だよ

あゆみ じゃあリンゴとかキノコとか取って食べる

未紀 どこ行くの？

あゆみ このまま、まっすぐ

未紀 まっすぐって、

「あゆみ」

あゆみ ずーっとまっすぐ、このまま歩いて行くの
未紀 海になっちゃうよ
あゆみ 海も歩くの
未紀 歩けないもんね
あゆみ じゃあ泳ぐ
未紀 でもそうしたら一周回って帰って来ちゃうもんね
あゆみ 違うよ、ずーっとまっすぐ行くんだよ、

女、走る。

未紀 無理だよ
あゆみ じゃあリンゴとかキノコとか取って食べる
未紀 どこ行くの？
あゆみ このまま、まっすぐ
未紀 まっすぐって、
あゆみ ずーっとまっすぐ、このまま歩いて行くの
未紀 海になっちゃうよ
あゆみ 海も歩くの
未紀 歩けないもんね
あゆみ じゃあ泳ぐ
未紀 でもそうしたら一周回って帰って来ちゃうもんね
あゆみ 違うよ、ずーっとまっすぐ行くんだよ、だから陸がなくなって海もなくなって宇宙に行くんだよ
未紀 行けないよ
あゆみ そんなのであつて行くんだよ
未紀 行けないよ
あゆみ 月なんて遠すぎて歩いて行けないもん
あゆみ 行けるよ。月までの距離は38万キロで、

女、走る。

未紀 海になっちゃうよ
あゆみ 海も歩くの
未紀 歩けないもんね
あゆみ じゃあ泳ぐ
未紀 でもそうしたら一周回って帰って来ちゃうもんね
あゆみ 違うよ、ずーっとまっすぐ行くんだよ、だから陸がなくなって海もなくなって宇宙に行くんだよ
未紀 行けないよ
あゆみ そんなのであつて行くんだよ
未紀 行けないよ
あゆみ 月なんて遠すぎて歩いて行けないもん
あゆみ 行けるよ。月までの距離は38万キロで、歩く速度が時速5キロで、一日8時間寝て残りの16時間全部歩いて行ったら一日80キロ歩けるから、38万わる80で、4750で、

女、走る。

「あゆみ」

未紀 行けないよ

あゆみ　　そんであの月まで行くんだよ

未紀　　行けないよ

あゆみ　　行けるよ

未紀　　月なんて遠すぎて歩いて行けないもん

あゆみ　　行けるよ。月までの距離は38万キロで、歩く速度が時速5キロで、一日8時間寝て残りの16時間全部歩いて行ったら一日80キロ歩けるから、38万わる80で、4750で、一年は365だから、4750わる365は約13だから、13年で月まで歩いて行けるんだよ。

未紀　　……うそ

あゆみ　　本当

女、走る。

11 道に迷った

あゆみと未紀のやりとりはまたも巻き戻る。

以下の女のセリフは、あゆみと未紀の会話に重なって発話される。

女

お疲れ様です。もしもし、えーとどなたもいないんでしょうか、みんな席はずしてますか？ えーとよくわからないんですが、どうやら道に迷ったみたいです。ここがどこかよくわかりません。とにかく遅刻してます。先方にもお電話しましたが留守番電話でした。これを聞かれた方は誰でもいいので私まで折り返し電話ください。えー、雨も降ってきました。でも、とりあえずこのまま進んでみたいと思います。では、あ、冷蔵庫のプリンみなさん食べてください。本日、期限です。

女、走って行ってしまふ。

12 あゆみは未紀がキライ

あゆみ、歩いている。未紀、後をついて歩いている。

あゆみ　　（～約13だから、）13年で月まで歩いて行けるんだよ。

未紀　　……うそ

あゆみ　　本当

未紀　　……月に行っちゃうの？

あゆみ　　行くよ、そこでそこから先もどんどん歩いて遠くに行くの

未紀　　なんで、なんで、行っちゃうの？

あゆみ　　……みきがうっとしーしーから

未紀　　……

あゆみ　　みきがきらいだから、みきからずーっと遠いところに行くの

未紀　　……あゆみちゃんきらい

あゆみ　　あーはやくみきから遠いところに行こ

未紀　　ばーか

あゆみ　　ばかはみきでしょ

未紀　　……もう帰る

あゆみ　　あっそ

未紀、立ち止まる。

「あゆみ」

あゆみ

……

あゆみ、そのまま行ってしまおう。

未紀 ……

13 あまやどりの巻き戻し

女、走る。

その瞬間に、先まで未紀を演じていた役者は「あゆみ」になり、女は「未紀」になる。一度、演じられたシーンが配役を変えて、再度、演じられる。

雨やどり。

未紀 でも、あたしはずっとここにいると思う

あゆみ え、なんで

未紀 だって、別に出て行く理由とかないから、あ、

あゆみ え、

未紀 思い出した、あたし、あゆみちゃんになりたかったんだ

あゆみ え、なにそれ

未紀 ……なんか久しぶりだね

あゆみ え？

未紀 こうやって話すの

あゆみ そうだね

あゆみ、次の場所に歩き出す。

未紀、今まであゆみがいた場所に向けて、走りだす。

未紀 あゆみちゃんは

あゆみ え？

未紀 何になりたいの？

あゆみ あたしはねー、遠くに行きたい

未紀 え？

あゆみ 行けるとこまで行きたいって感じかな

未紀 ……月とか？

女、走る。(この女は、どの役者が演じててもよい)

14 ビビッてる

女は消えて、あゆみと未紀のふたりになる。

あゆみ、歩いていく。未紀、あゆみの後ろをついて歩く。

あゆみ 帰るんじゃないの？

未紀 帰るよ

あゆみ こっちじゃないでしょ

未紀 どーかえろうがみきの勝手でしょ

あゆみ なに泣いてるの？

未紀 泣いてないよ

「あゆみ」

あゆみ 泣いてんじゃない
未紀 泣いてないもん
あゆみ ついてこないでよ
未紀 ついてってない
あゆみ ついてきてるでしょ
未紀 たまたま、あゆみちゃんがあたしの前歩いてるだけだから
あゆみ うそ
未紀 ほんと
あゆみ じゃあ、抜かせば、

あゆみ、止まる。未紀も、止まる。

未紀 ……
あゆみ ほら、早く
未紀 ……
あゆみ ビビッてる

あゆみ、歩き出す。未紀、後についていく。

未紀 ビビってない
あゆみ 知らない道歩くのが怖いんでしょ
未紀 怖くない
あゆみ あたしの後ろしか歩けないんでしょ
未紀 ……

女、走る。

15 お見舞いの巻き戻し

その瞬間、一度、演じられたシーンが配役を変えて、再度、演じられる。

お見舞い。

未紀 あ、ねえ、あゆみちゃん、新しいりぼんもう読んだ？
あゆみ (首を横に振る)
未紀 あのね、お母さんが病院の帰りに買ってくれたの、一緒に読もうよ
あゆみ (首を横に振る)
未紀 えーなんで、読もうよ、ねえ、一緒に読もう？
あゆみ (うなずく)
未紀 やったー、じゃあ、上がって、

未紀、行ってしまおう。

未紀の声 お母さん、あゆみちゃん遊んでくって、

あゆみ、ゆっくりと歩いていく。

女、走る。

女は消えて、あゆみと未紀のふたりになる。
あゆみ、歩いている。未紀、あゆみの後ろをついて歩く。
未紀、歩き方がおかしい。

あゆみ ねえ、
未紀 ……
あゆみ ばかみき
未紀 ……
あゆみ おしっこしたいんですけどよ
未紀 ……したくない
あゆみ うそつけ
未紀 うそじゃないもん
あゆみ ふーん、
未紀 ……

あゆみ、立ち止まる。未紀も止まる。

あゆみ あ、公園だ。トイレもあるなー。けど、このままいつちやお。
未紀 ……いいよ
あゆみ あっそ
未紀 ……

あゆみ、行ってしまう。

未紀 ……あゆみちゃん！

あゆみ、戻ってくる。

あゆみ ……おしっこ行きたかったんですけど？
未紀 (うなづく)
あゆみ なんてうそつくの
未紀 ごめんなさい
あゆみ ほら、行くよ
未紀 ……(動かない)
あゆみ どうしたの？
未紀 ……
あゆみ あ、
未紀 ……
あゆみ ……しちゃったの？
未紀 ……(うなづく)
あゆみ ばか
未紀 ……
あゆみ 公園、行くよ
未紀 (動かない)
あゆみ みき

「あゆみ」

未紀 (動かない)
あゆみ もー、洗わなきゃでしょ
未紀 ……
あゆみ (手を差し出して) ほら
未紀 (手をつなぐ)

あゆみと未紀、手をつないで、来た道に戻る。

17 通学路の巻き戻し

女、走ってやってくる。まわりを確認する。

女 ……!

あゆみ、歩いてやってくる。未紀、変な歩き方であゆみのあとに続く。

未紀 だからこの白いとこしか歩けない
あゆみ バカじゃないの
未紀 はいはい、
あゆみ ……もー、じゃあねバイバイ

あゆみ、行ってしまっ。

未紀 えー、ちょっと(線を無視して追いかける)ボガ……

女、おもわず未紀の手を引っ張って引き戻す。

未紀 !
女 だめ、
未紀 え?
女 ダメなの
未紀 ……え、え?
女 ボガーンってなっっちゃダメなの
未紀 ええ、
女 ……
未紀 あゆみちゃん!

あゆみ、戻ってくる。

あゆみ もー、なに? (女に気がつく)
未紀 だって、
女 ……
あゆみ え、

あゆみ、未紀と女の間に入って入り、

「あゆみ」

あゆみ ……あの、すいません、(未紀に) ほら、行くよ。
未紀 うん

あゆみと未紀、行ってしまっ。

18 再会

女、ふたりを見送るでもなく、呆然と立つ。

女 ……

また別の、あゆみ、の声が聞こえる。

あゆみ (声のみ) そんなことしたってしょうがないでしょ
女 ……

あゆみ、ゆっくりと歩いてやってくる。

あゆみは、傘をさしている。

あゆみ、自分の傘を女に差しだし、

あゆみ ほら、びしょびしょ
女 …… (傘を受け取る)

あゆみ、歩き出す。女、思わず後を追う。

女 あゆみちゃん、

あゆみ 久しぶりだね

女 あゆみちゃん

あゆみ うるさいなあ、なに

女 だって、

あゆみ ほら、追いてくよ

女 待って、ねえ、あゆみちゃん、……ごめんね

あゆみ だから、あんなの関係ないってば

女 でも、

あゆみ みき、今、東京にいるんですよ？

女 あ、うん、

あゆみ いいな

女 でも、あゆみちゃんいないと、なんか、わかんないよ

あゆみ 何言ってるの

女 だって、

あゆみ 怖いのか？

女 怖いよ

あゆみ ビビッてる

女 ビビッてるよ

あゆみ わかんなくなったら止まればいいし、間違ってたら戻ればいいじゃん

女 ……

あゆみ それだけのことでしょ

女 うん

あゆみ あたしよりみきの方がしっかりしてるよ、桶のときもそうだったし

「あゆみ」

女 桶？
あゆみ みきの言う通り、あたし桶に入っちゃったし、いっせーのっせー！

あゆみ、一瞬、消える。

女 ……

あゆみ、再び、現れる。

あゆみ 冗談

女 笑えないよ

あゆみ ごめんごめん

女 あたしちゃんと歩けてる？ 前に進んでる？

あゆみ 進んでる進んでる

女 同じところグルグル回ってるだけじゃない？

あゆみ じゃないじゃない

女 テキトー

あゆみ いや本当。だって、みき、もう全然あたしが知らないところ歩いてるから、

女 え、

あゆみ だからそんなことあたしに聞いても意味ないよ

女 だってあゆみちゃん何でも知ってるじゃん

あゆみ そんな道、全然知らないから、

女 例えば？

あゆみ 結婚とか？

女 え！ え、えー、うそ

あゆみ ほんとだよ

女 だってそんなの、え、誰と？

あゆみ しらねーよ

女 まじで、

あゆみ ほら、じゃあ、寄り道してるひまないっしょ

女 え、

あゆみ じゃあまたね

女 え、もう

あゆみ そうだよ、この道まっすぐで帰れるから

女 そんな

あゆみ その傘あげる、じゃあね

女 あゆみちゃん、待って

あゆみ なに？

女 プリン、プリン一緒に食べようよ、期限切れてるけど

あゆみ やだよ

女 ねえ、あゆみちゃん、今どこにいるの？

あゆみ えー

女 え？

あゆみ ほら、あそこ、地球

女 あ、

あゆみ じゃあね、ばいばい

女 ……ばいばい

「あゆみ」

あゆみ、行ってしまっ。

女
……

女、あゆみとは違う方向へ歩いて行く。

19 グリコ

未紀、やって来る。

未紀 パ・イ・ナ・ツ・プ・ル、じゃんけんぽん

あゆみ、やって来る。

あゆみ グ・リ・コ、じゃんけんぽん

未紀 やったー、パ・イ・ナ・ツ・プ・ル、じゃんけんぽん、ねえほんとにほんと？
あゆみ グ・リ・コ、ほんとだってば

未紀 ほんとにみきのせいじゃないの？

あゆみ 違うって、ほら、じゃんけんぽん

未紀 パ・イ・ナ・ツ・プ・ル、じゃあなんで家出したの？

あゆみ ……教えない

未紀 えーなんで？

あゆみ じゃんけんぽん、グ・リ・コ

未紀 じゃんけんぽん、パ・イ・ナ・ツ・プ・ル、ねえあゆみちゃんわざと負けてない？

あゆみ そんなことないよ

ふたり、遊びながら出て行く。

20 翌日

女、歩いてやって来る。見えないエレベーターに乗り込む。

女
……

同僚、やって来る。

同僚 待って、待って、待って、

女 (慌ててボタンを押し) あ、

同僚、見えないエレベーターに滑り込む。

同僚 はー

女 おはよう

同僚 (息を整えながら) おはよ、ちょっとだいじょうぶ？
女 十階？

同僚 うん、……昨日、遭難したんでしょ

女 そんな大したあれじゃないよ

同僚 風邪とか、雨すごかったし

「あゆみ」

女 だいじょうぶだいじょうぶ
同僚 どこ行ってたの？
女 月？
同僚 え？

女と同僚、エレベーターを降りる。

女 ねえ、あたし結婚するって、
同僚 え、うそ、誰と！
女 知らない。いい人いない？
同僚 は？ だいじょうぶ？
女 ……

女と同僚、別々の方向へ歩いて行く。

21 帰宅

あゆみと未紀、歩いてやってくる。

あゆみ じゃあ、ここまでね

あゆみ、立ち止まる。未紀、あゆみを追い抜いて、振り返る。

未紀 お母さん、怒ってるかな
あゆみ めちゃめちゃ怒ってる
未紀 えー
あゆみ じゃあね

あゆみ、行くところとする。

未紀 ねえ、
あゆみ (思わず立ち止まり) え？
未紀 明日も会えるよね
あゆみ 当たり前でしょ
未紀 そうだけど
あゆみ また朝、迎えに行くから

あゆみ、再び、行くところとする。

未紀 ……友達？
あゆみ (振り返って) え、なに？
未紀 みきとあゆみちゃん、友達？
あゆみ ああ、友達友達
未紀 一生？
あゆみ ……一生一生
未紀 テキトー
あゆみ じゃあね、バイバイ
未紀 バイバイ、またあしたね

「あゆみ」

あゆみ　またあした

あゆみ、行ってしまっ。

未紀　……

未紀、しばらく、見送った後、あゆみと反対方向に歩き出す。

未紀、歩き続ける。

歩き続ける。

ゆっくりと光の道が消える。

役者たちは歩くのをやめる。

客席に向かって、一礼。

「あゆみ」おしまい。

本作品の著作権は、作者である柴幸男に帰属します。
上演許可などのお問い合わせは、作者の所属する劇団「ままごと」「まごで」
上演をする際は有料無料に関わらず、必ずご連絡ください。

ままごと HP www.mamagoto.org
MAIL mamagoto.org@gmail.com